令和3年度　学校評価

学校名	北海道函館商業高等学校

自己評価（A:十分　B:おおむね良い　C:やや不十分　D:不十分）								学校関係者評価
分野・領域	評価項目	達成度 A	達成度 B	達成度 C	達成度 D		今年度の実施内容と反省	自己評価に対する意見
学習指導	わかる授業の実践と学力向上	6.8%	72.7%	18.2%	2.3%		・基礎力の不足や学力差により指導に苦慮する　場面が多くあった。 ・生徒が主体的に授業に臨む意識付けを指導していきたい。（全日制） ・ICTを積極的に活用するための研修を行っていきたい。	・個別に理解度を掘り下げて展開する等、学力差を縮める取り組みをしてほしい。 ・生徒に成就感を持たせるような学習指導の工夫をお願いしたい。 ・生徒がやらされる学習ではなく、主体的に学習に取り組むよう、主体性を養ってほしい。 ・ICTを活用して授業改善を図ってほしい。
		79.5%		20.5%				
	家庭学習の習慣化	4.5%	40.9%	52.3%	2.3%			
		45.5%		54.5%				
生徒指導	望ましい人間関係の育成	2.3%	79.5%	15.9%	2.3%		・いじめ対策委員会の開催と全教員による情報共有は、いじめの未然防止に有効であった。 ・今年度、相談しやすい人間関係や、ストレス対処スキルを身につけるため、集団カウンセリング授業を取り入れた。（定時制） ・昨年度は、できなかった学校行事等についても、感染予防を行いながら工夫して実施した。 ・女子のスラックスについて保護者、生徒に広く周知を図る。（全日制）	・成人年齢の引き下げによる主権者教育や消費者教育の指導をお願いしたい。 ・いじめによって命を落とす生徒もいることから、今後もいじめの早期発見、適切な対応をお願いしたい。また、関係機関との連携も図ってほしい。 ・一人一人の生徒のために、家庭や保護者との連携を強めてほしい。
		81.8%		18.2%				
	生徒との信頼関係の確立	11.4%	70.5%	15.9%	2.3%			
		81.8%		18.2%				
	保護者等との適切な連携	6.8%	81.8%	11.4%	0.0%			
		88.6%		11.4%				
進路指導	キャリア教育の充実	13.6%	68.2%	18.2%	0.0%		・インターンシップを実施し、勤労観や職業観育成の一助とすることができた。（定時制） ・多様な体験活動の機会が少なく、自己特性の理解まで達成することができなかった。（全日制） ・進路実現に向けて、三者面談の他に、進路別の保護者説明会を実施し、保護者に適切に各種情報を提供できた。（全日制）	・コロナ禍で他者とのコミュニケーションを図る機会が減少しているので、コミュニケーション能力向上に工夫した取り組みをお願いしたい。 ・生徒が、社会に出たとき困らないよう、3年間を見通したキャリア教育をお願いしたい。 ・就職については、今年度も十分な実績をあげたが、進学については、進学講習等の工夫により、生徒の進路実現をサポートする体制整備をお願いしたい。
		81.8%		18.2%				
	多様な体験活動の実施と進路意識の明確化	15.9%	79.5%	4.5%	0.0%			
		95.5%		4.5%				
	保護者等との適切な連携	14.0%	67.4%	18.6%	0.0%			
		81.4%		18.6%				
健康安全指導	教育相談体制の充実	4.5%	81.8%	13.6%	0.0%		・長期休業明けに教育相談を行い、悩みを抱えた生徒の状況を把握し、適切に対応した。 ・交通安全教室、防災訓練など行い生徒の安全と避難に対する意識を高めることができた。 ・基本的生活習慣確立のための指導を行ってきたが、体調不良による欠席者が多かった。（定時制） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校医の指導を仰ぎながら対策を講じた。	・基礎体力作りの大切さを生徒が自覚できるような指導をお願いしたい。 ・様々な悩みを抱える生徒に対応できるよう、スクールカウンセラーを有効に活用するなど、教育相談の体制強化に努めてほしい。 ・家庭や保護者との連携を深めながら、体調管理についての指導を徹底し、自己管理能力を高めてほしい。
		86.4%		13.6%				
	自己管理能力の育成	11.4%	63.6%	22.7%	2.3%			
		75.0%		25.0%				
	安全教育の充実	11.4%	77.3%	11.4%	0.0%			
		88.6%		11.4%				

自己評価 （A:十分　B:おおむね良い　C:やや不十分　D:不十分）							学校関係者評価
分野・領域	評価項目	達成度 A	達成度 B	達成度 C	達成度 D	今年度の実施内容と反省	自己評価に対する意見
信頼される学校づくり	特色ある教育活動の推進	4.5%	72.7%	22.7%	0.0%	・コロナ禍で制限のある中、工夫しながら地域社会や関係諸機関と連携した活動を行った。 ・はこだて学、商品開発、ビジネスアイディアなど前年度できなかった体験的かつ実践的な取り組みを行うことができた。（定時制） ・外部講師等と連携し、地域の教育力を活かした教育実践ができた。（全日制） ・地域行事への協力やボランティア活動などの地域貢献が、定時制の生徒の現状や時間等の問題で実践できなかった。（定時制） ・学校通信やPTAだよりの発行やWebページを効果的に活用して、学校情報を発信できた。 ・教育課程委員会や教務部を中心に新学習指導要領に準拠した観点別評価の研修と新教育課程の編成に努めた。 ・風邪などによる出席停止の生徒に対して放課後の学習時間を確保するなど、学びの保障に努めた。（定時制） ・服務規律の厳守や私費会計等の適切な管理について様々な機会を通じ周知し啓蒙を図った。	・地域の方々や中学生に函商の魅力を知ってもらう為に、年に複数回、体験授業や授業公開を実施してみてはどうか。 ・コロナウイルス感染予防に努め、工夫しながら地域社会と連携した事業を実施してほしい。ボランティア等の地域貢献や小・中学校との連携も工夫して実施してほしい。 ・学校のホームページ等による学校情報の発信は、次年度も継続的に実施してほしい。 ・学校関係者評価をはじめとして、保護者や地域の意見を教育活動に反映させてほしい。 ・信頼される学校づくりのために、服務規律の厳守に努めてほしい。
		77.3%		22.7%			
	地域人材や教育力の活用	4.5%	70.5%	25.0%	0.0%		
		75.0%		25.0%			
	教育力の地域還元	6.8%	40.9%	52.3%	0.0%		
		47.7%		52.3%			
	情報発信の充実	11.4%	59.1%	29.5%	0.0%		
		70.5%		29.5%			
	学校評価の充実	6.8%	56.8%	36.4%	0.0%		
		63.6%		36.4%			
	適切な教育課程の管理	15.9%	59.1%	25.0%	0.0%		
		75.0%		25.0%			
	服務規律の厳守	18.2%	56.8%	25.0%	0.0%		
		75.0%		25.0%			
組織運営	教職員の連携強化	11.6%	46.5%	37.2%	4.7%	・公開授業や授業研修等により教職員の同僚性を確立し、生徒の学びの質を高める必要がある。 ・危機管理マニュアルの見直しを行い、確認を図った。	・学校課題に対して、教職員が一丸となって解決に取り組んでほしい。
		58.1%		41.9%			
	危機管理体制の確立	9.1%	61.4%	29.5%	0.0%		
		70.5%		29.5%			
教職員の資質向上	研修活動の充実	9.1%	47.7%	40.9%	2.3%	・渡島教育局の主査を招いての新学習指導要領に関する観点別評価の研修や、ICT活用に関する校内研修を行った。 ・個々で研修会に参加しているが、全体の共有化までには至らなかった。 ・超過勤務や初任段階の職員に対して、産業医による面談を行い、メンタルヘルスに努めた。	・各種研修成果を共有し、教職員全体の資質向上を図ってほしい。 ・グループラインなどを使い、研修会での体験を教職員間で共有してはどうか。 ・生徒へ効果的な教育活動を行うために、労働環境の改善を図ってほしい。 ・全教職員が働き方への意識改革を図るために研修会等を実施してほしい。
		56.8%		43.2%			
	研修成果の共有化	6.8%	29.5%	61.4%	2.3%		
		36.4%		63.6%			
	働き方改革	4.5%	40.9%	50.0%	4.5%		
		45.5%		54.5%			